

3 C 区市町村包括補助 令和7年度採択事業一覧

「全ての子供の笑顔を育み、チルドレンファーストの社会へ」及び
「望む人の「叶えたい」を支え、一人ひとりの自己実現を応援」のビジョンの実現

「心豊かに暮らし、いつまでも輝けるアクティブなChōju社会」のビジョンの実現

「支え合いの輪を拡げ、誰もが「つながり」を実感できる社会へ」のビジョンの実現

令和7年11月
東京都

子供（通常）区分

【採択事業一覧】

1	千代田区	子どもの意見聴取の仕組み構築に向けた調査を通じた子どもの権利の推進	P 6
2	足立区	中学生の自己実現を応援「キャリア教育 ゆめデザインプロジェクト」(地域と連携したキャリア教育、校内職場体験事業)	P 7
3	葛飾区	公園と一体となった子ども未来プラザの整備	P 8
4	青梅市	デジタルを活用した、子供の知りたい！学びたい！を引き出す読書活動の充実	P 9
5	青梅市	中高生・若者が集う居場所づくり事業	P 10
6	狛江市	子供を中心とした連続性のあるシームレスな支援体制の構築	P 11
7	多摩市	子供たちと一緒に作るインクルーシブな広場と公園・アートの連携	P 12
8	あきる野市	自然の中で学び・遊べる公園整備事業	P 13
9	八丈町	島っこの笑顔が集まる新しい庁舎整備事業	P 14

【採択事業一覧】

1	港区	登下校時等における児童の安全対策を通じた、地域の安全・安心等の確保	P 15
2	豊島区	「小1の壁」対策事業（朝夕の児童見守り事業）	P 16
3	荒川区	スポーツ施設を核とした荒川遊園地区の子育て支援事業のさらなる充実	P 17
4	足立区	プッシュ型による子育て情報発信とお出かけ応援	P 18
5	葛飾区	地域ぐるみで婚活応援プロジェクト	P 19
6	多摩市	たまこどもフェス	P 20

【採択事業一覧】

1	文京区	文京健康アプリふーみーを用いた健康寿命延伸事業	P 21
2	豊島区	デジタル活用による健康意識の向上と地域のつながりの強化	P 22
3	立川市	健康ポイントを活用した高齢者の健康増進促進事業	P 23
4	昭島市	高齢者の健康、生きがい、仲間づくりの場の創出	P 24
5	多摩市	アプリを活用した健幸ポイントによる高齢者の健康増進と地域振興	P 25
6	あきる野市	持続可能な地域公共交通による移動支援と高齢者の健康増進事業	P 26
7	西東京市	健康 e スポーツ事業	P 27

【採択事業一覧】

1	品川区	就労体験等を通じた地域共生の居場所づくり事業	P 28
2	杉並区	多世代が利用できる公園へのリニューアル	P 29
3	豊島区	不登校生徒の社会的自立に向けた学びの場・居場所の充実事業	P 30
4	板橋区	地域住民がつながる機会と居場所づくり 緑と文化のかがやく交流拠点整備事業	P 31
5	練馬区	ママパパ活躍応援事業「ねりまママパパてらす」	P 32
6	八王子市	民間との共創によるコミュニティ創出プロジェクト	P 33
7	稲城市	つどう・まなぶ・ささえる地域空間創造プロジェクト	P 34
8	西東京市	中高生特化型児童館整備事業	P 35
9	奥多摩町	こどもを中心とした地域交流拠点整備事業	P 36

「子どもの権利」の普及啓発や、子どもの意見を聴取・反映する仕組みを構築

事業内容

◆子ども向け情報発信及び意見聴取

- 子どもや保護者へアンケート等を実施し、こども施策に関する**情報発信や意見聴取に係るニーズ・実態を把握**
- ⇒AI技術を用いたデータ分析を行い、**情報発信や意見聴取の手法を検討・構築**
- ※子どもが安心して情報を受け取ることができ、意見を言いやすい居場所づくりに係るあり方等も併せて検討

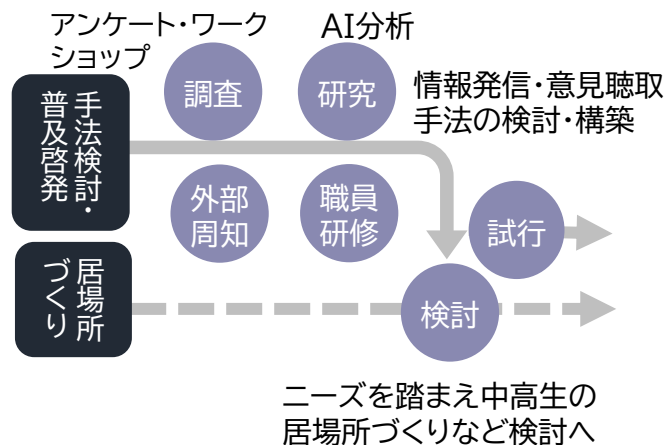


ちよだキース・フォーラム2025の様子

◆「子どもの権利」の普及啓発

- 「子どもの権利」に関するリーフレットを区内小中学校の新1年生に配布するなど広く周知
- 「ちよだキース・フォーラム」(子どもワークショップ等)を実施

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
意見聴取の手法構築	ニーズ・実態調査 →		
「子どもの権利」の普及啓発	リーフレット周知 →		



近隣企業との連携による校内職業体験等、地域をあげた中学生のキャリア形成を支援

事業内容

◆**ビジネスマナー教室**

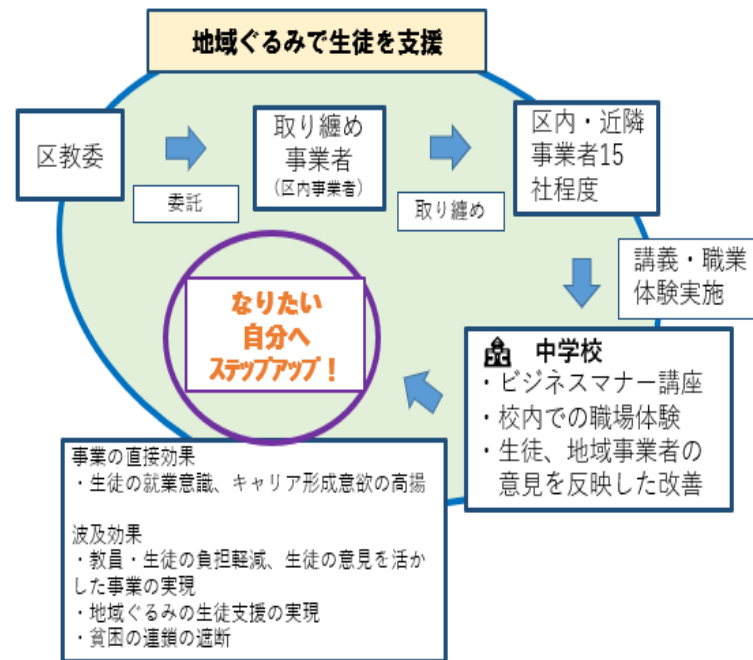
・近隣の企業等を学校に招き、中学2年生対象の**マナー講座を実施**

◆**地域と連携した「校内職場体験」**

・近隣の企業等の協力の下、教室や体育館を各企業ブースとして**職業体験を実践**し、子供の就業・キャリア形成意欲を醸成

◆**企業と学校・生徒・区の担当者との意見交換**

・参加企業や教員、生徒と意見交換を行い、地域と連携した子供の意見反映を実現



事業全体のイメージ

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ビジネスマナー教室	中学校4校で実施	中学校6校で実施	中学校8校で実施
校内職場体験			
意見交換			

子ども未来プラザと公園の一体的整備による、
地域の親子を中心とした多世代交流や多様な遊び場の創出

事業内容

◆ 妊娠期から子供が成人するまでの切れ目のない子育て支援

- ・各種手続き、日常利用、個別支援まで**ワンストップ**で対応
- ・母子保健と子育て支援の相互サービスを通じた切れ目のない支援
- ・学齢期の子供の遊びや学びを通じた健全育成への支援

◆ 多様な遊び場の確保

- ・地域の子供を対象に遊具や機能に関するアンケートを実施
⇒子ども未来プラザと公園の機能分担・連携による**屋内外の多様な遊び場を確保**

◆ 地域の多世代交流の推進

- ・エントランス内に地域交流スペースを設け、**多世代が利用可能な空間**を整備
- ・公園を活用した事業展開や**地域との協働イベント**を通じた**交流**を推進



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
(仮称) 子ども未来プラザ白鳥	実施設計 → 建設工事		開設
白鳥北公園	基本設計 →	実施設計	改修工事 →

施設イメージ

デジタルを活用した子供の読書活動の充実

事業内容

◆ 図書館の電子書籍等サービスの展開

- ・市内小中学生の「**電子書籍モニター**」による**電子書籍利用講座**、意見交換を実施
- ・乳幼児やその保護者を対象に、絵本読み聞かせ会や**電子書籍の利便性を周知**
- ・**読み上げ機能**を活用した**障がい者向けサービス**の充実

◆ 学校図書館への蔵書管理システム導入

- ・学校図書館において、書籍のデータベースを作成・管理する**蔵書管理システムを導入**

◆ 図書館と学校との連携事業

- ・市内小中高等学校において、電子書籍に関する講座を実施
- ・図書館職員が教員に対し書籍の効果的な活用方法について助言等のサポートを実施
⇒読書の時間や調べもの学習といった授業へ展開

「電子書籍モニター」の意見交換
イメージ

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
図書館の電子書籍等サービス	電子書籍コンテンツ 利用開始	電子書籍モニター による広報	→
学校図書館の蔵書管理システム		蔵書管理システム導入 (小学校)	蔵書管理システム導入 (中学校)
図書館と学校との連携事業	電子書籍モニターの募集	ハイブリッド型 読書案内	→

中高生・若者の意見を反映し、市庁舎を居場所として整備

事業内容

◆ 中高生・若者の声を反映した居場所の整備

- ・こども計画策定に向けた小中高高校生へのウェブアンケートや市内の高校に通う生徒との意見交換会において、「友達とゆっくり話せる場所」を求める声
⇒市役所 2 階を改修し、**学習スペース・交流スペースを整備**



「こども会議(仮)」「若者会議(仮)」イメージ

◆ 子供の意見聴取の仕組みづくり

- ・中高生、若者が意見を表明できる「**こども会議 (仮)**」、「**若者会議 (仮)**」を**開催**し、意見を市政に反映

◆ こども基本条例 (仮) の制定

- ・「こども会議 (仮)」、「若者会議 (仮)」での意見を反映した「**青梅市こども基本条例 (仮)**」を**制定**し、**子供の権利を普及啓発、機運醸成**



学習スペースのイメージ

スケジュール	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度
居場所の整備	整備 →	運営 →	
子供の意見聴取の仕組みづくり	こども会議 若者会議等の実施		
青梅市こども基本条例制定	意見聴取	意見聴取 シンポジウム開催	条例制定

シームレスな支援体制により、子供の特성에応じた教育環境の提供や、
支援の必要性が高い子供の対応を強化

事業内容

◆児童の属性情報を一元化

- ・市の各部署で個別に管理している子供の「相談情報」「属性情報」を一元化

◆子供を中心とした連続性のあるシームレスな支援体制の構築

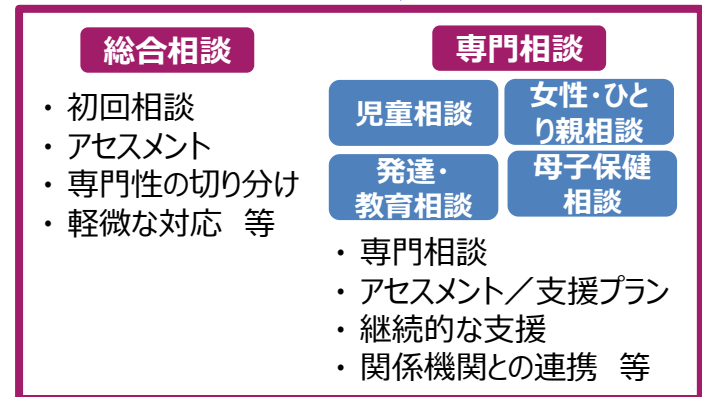
- ・システムを介した情報連携により、**悩みを抱える子供とその保護者を支援**
- ・子供の特성에応じた適切な教育機会・学習環境を提供

◆システムによるリスクの可視化

- ・健康管理システム等との連携により、**虐待リスクを予測し顕在化**
⇒支援の必要性が高い子供や世帯のリスク管理・対応を強化



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
機器の導入・要件定義	→		
システム構築		→	
システム機能追加			→



誰もが一緒に遊べる公園整備と多様性理解を促進

事業内容

◆整備に向けた取組

- ・インクルーシブな広場整備に向け、特別支援学校等へのアンケートやワークショップ、小学校での出前授業などを通じ、子供たちと一緒に整備内容を決定
⇒子供たちが整備内容の決定に加わることで、広場への愛着を醸成しインクルーシブな場所に育てていきたいという気持ちを育む

◆障がい者美術作品の公園展示による障がい理解の一層の推進

- ・障がいの有無に関わらず、誰もが参加できる「ぱらあーと多摩市みんなの美術作品展」を屋外にも拡充し、公園での展示を通じて多様性や障がいへの理解を深める

◆インクルーシブな遊び場・広場を活用した福祉体験学習

- ・市内で実施する車いす体験などの福祉体験学習において、新たに整備するインクルーシブな広場を活用することで、継続性のある障がい理解の取組を促進



出前授業の様子



整備予定場所での遊具サンプル体験

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
整備に向けた取組	整備 →	活用とヒアリング →	追加の整備 →
ぱらあーと多摩市みんなの美術作品展	● 作品展	● 作品展	● 作品展
福祉体験学習		体験学習 (随時実施)	→

遊びの中で自然体験ができる「学びの場」を創出

事業内容

◆子供の意見を反映した公園整備

- ・地域の子供たちや自然体験イベントに参加した子供、森づくり等について学ぶ小学生（森の子コレンジャー）へアンケート
⇒設置遊具や樹木等に子供たちの意見を反映

◆自然体験学習イベントの開催

- ・市内の小学生等を対象に、自然遊びや落ち葉を活用した堆肥作り体験などのイベントを実施

◆子供を中心とした子育て世帯のコミュニティ形成の場

- ・コミュニティ形成の場として、子育て世帯が足を運びたいような公園を整備
- ・整備後も継続して意見を聴取し改善



整備予定地



「森の子コレンジャー」の活動風景

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公園整備	設計 → 工事	→ 開園	→ イベント実施

子供の自由な意見を取り入れた、「遊び」「学び」「交流」のカタチを実現できる「新しい庁舎環境」を整備

事業内容

◆庁内の未活用部分を利用した新しい「遊び場」「交流の場」の整備

- ・**無料の遊び場**や親子で**食事等ができる交流の場**、授乳室を設置

◆ミニ水族館の整備による「学びの場」の創出

- ・共用部にミニ水族館を整備し、生物に触れ、**自然を学べる場所を創出**

◆「学習環境」の整備

- ・学習用Wi-Fi環境を整備し、自主学習環境が少ない島での**「第三の居場所」を創出**

◆防犯カメラ設置による「子供の安全な環境」の確保

- ・職員等が防犯カメラで監視できる体制を整備し、**「子供の安全な環境」を確保**



事業概要図



整備内容

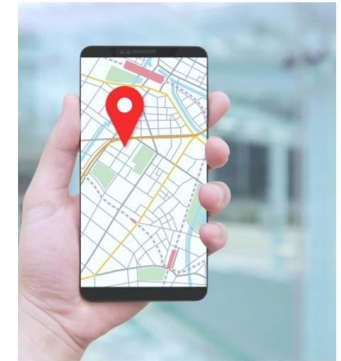
スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
「遊び場」「交流の場」の整備	→		
「学びの場」の創出	→	運用開始	
「学習環境」の整備	→	運用開始	
「子供の安全な環境」の確保	→	運用開始	

GPS見守り端末の無償貸与を中心とした児童の登下校時の安全対策を推進

事業内容

◆GPS見守り端末の貸与

- ・区立小学校の全児童を対象とし、希望した児童に**GPS見守り端末を無償貸与**
- ・専用アプリにより、**保護者が児童の現在地をリアルタイムで確認可能**
 事前に登録した地点への発着や緊急ボタン押下時には**プッシュ通知**でお知らせ
 ⇒子育て世帯に経済的負担を強いることなく、安心して働くことができる環境づくりに寄与



◆学校内及び登下校時における児童の安全確保

- ・区立小学校の通学路上の要所に登下校誘導員を配置し、登下校時の安全を確保
 誘導業務については**地域のシルバー人材センターを活用**
- ・区内の全小学校に民間警備員を配置し、学校内の安全を確保



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
GPS見守り端末の貸与	貸与・故障対応		
誘導員・警備員の配置	配置		

登校時間前および学童クラブからの帰宅時に児童を見守り、働く保護者の仕事と子育ての両立を支援

事業内容

◆おはようクラス (朝の見守り)

- 平日の7時45分から登校時間までの間、**学校用務員**が子どもスキップ (学童クラブ) や指定の教室で児童を見守り
- 小学1年生で、学童クラブ登録者かつ長期休暇中等の9時前利用を申請している児童を対象、区立小学校**全22校**で通年実施



おはようクラスの様子

◆おかえりサポート (学童クラブからの帰宅時の見守り)

- 平日16時30分から18時過ぎまでの間、**シルバー人材センター会員**が暗い道や交通量の多い通学路を安全な地点まで見送り
- 主に学童クラブ登録者を対象、学童クラブに登録していない施設利用児童も利用可能
- 区立子どもスキップ (学童クラブ) **全22施設**で4月、10～2月に実施



学校ごとに見送りルートを設定

⇒**朝夕両方での見守り**により、働く保護者の仕事と子育ての両立や子供の安全確保に寄与

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
おはようクラス	見守り実施		
おかえりサポート	見送り実施	見送り実施	見送り実施



おかえりサポートの様子

荒川遊園近くのスポーツハウスの大規模改修を契機とし、保護者同士の交流や地域の賑わいを創出

事業内容

◆ 子育て支援設備の充実

- ・スポーツハウス内にスタジオや子供用更衣室、ベビーステーション（授乳室、調乳用温水器、おむつ交換台）を整備
- ⇒ **小さい子供連れの保護者が安心してスポーツハウスを利用できる環境**を創出



◆ 子供の屋内遊び場の整備を通じた保護者交流拠点の強化

- ・増築棟部分に乳幼児から小学生までが遊べる2か所の遊び場を整備
- ・施設利用者だけでなく、**あらかわ遊園を目的に来訪した子育て世帯**も利用できる環境を整備
- ・**保護者同士の交流拠点**としての機能を強化

子どもの意見を踏まえトランポリンを新たに設置



※イメージ画像は生成AIで作成

◆ 年齢や障がいに関係なく参加できる教室・イベントの実施

- ・リニューアルを記念した教室・イベント、あらかわ遊園とのコラボレーションイベントやボッチャイベント等の開催を通じ、**共生社会へ向けた取組を進め、地域の賑わい**を創出

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
増築・改修工事	→		
機能強化		材料調達 → 整備	
教室・イベント実施			開設、イベント等実施 →

アプリを活用した情報発信と赤ちゃん休憩室の実用性向上により、親子が気軽に外出できる環境整備を推進

事業内容

◆アプリを活用した子育て情報の発信

・母子保健所管部署が運用していたWEBサイトサービス(予防接種支援等)を、**子育て支援機能を加えたアプリケーション**としてリニューアル

■新たに加わった主な子育て支援機能

- ・プッシュ通知、子育て支援施策・イベント・お出かけ情報の掲載・検索
- ・子供の年齢や世帯の状況に合わせたタイムリーな情報の発信・検索

⇒**子育て情報の集約、プッシュ型の発信により、ユーザー目線に立った情報発信を実施**



◆赤ちゃん休憩室の実用性向上

・**アプリとの連携**をはじめ情報発信を強化するとともに、お出かけ時のおむつ交換需要に対応し、**おむつ回収機** (圧縮密閉機能付きおむつパック機) を設置



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
アプリ開発・運用	開発	運用	
おむつ回収機	設置・広報・追加設置検討		

区独自の婚活イベント等の開催と町会・自治会等が主催する婚活イベントへの助成により、結婚等を希望する若者を支援

事業内容

◆ 商店街イベントとコラボした婚活イベント等の実施

- ・区が主催する婚活イベントの実施、同日のイベント前には婚活に役立つコミュニケーションスキル向上のためのセミナー等も実施
- ・**商店街連合会イベント「葛飾まるごとバル」とコラボし、**参加者全員にバルチケットを配付
⇒参加者がマッチング後のデートに活用可能、**地域活性化にも寄与**
- ・イベントのマッチング後、年度内は**交際に関するアドバイスや結婚に向けた相談等に対応**

◆ 町会・自治会等への婚活支援事業費補助金

- ・町会や自治会、商工会議所等の**非営利団体**が実施する**婚活イベントに対し助成**を実施



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
婚活イベント・セミナー等開催	開催 → 相談対応	開催 → 相談対応	開催 → 相談対応
団体への補助	申請受付、助成金支払等	申請受付、助成金支払等	申請受付、助成金支払等

多様な主体と連携した市の子育て支援施策の幅広いPRを通じて、支援の浸透を図る

事業内容

◆産学官連携による子育て支援PRイベントの実施

市内の多様な子育て関連団体と連携したイベントの開催により、市の幅広い取組を周知し、対象者に支援が届くよう利用を促す

<主な取組>

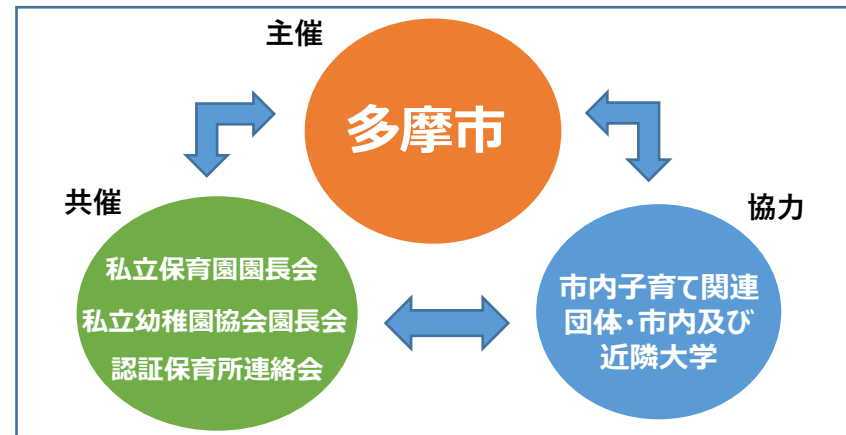
- ・幼稚園、認可保育所、認証保育所のPR
- ・学童クラブ、放課後子供教室など放課後の居場所のPR
- ・保健師等による専門相談「こども誰でもなんでも相談」、子供と保護者が一緒に遊べる「たまこ出張ひろば」の実施
- ・市内及び近隣の大学生が企画した遊びの提供 等

⇒質の高い子育て支援施策や子育て環境の良さを発信し、「子育てするなら多摩」というイメージを醸成

将来世代である大学生が子供と触れ合う機会を創出



イベントの様子



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
たまこどもフェス開催	<p>→ 開催</p> <p>次回開催に向けた調整</p>	<p>→ 開催</p> <p>次回開催に向けた調整</p>	<p>→ 開催</p> <p>次回開催に向けた調整</p>

高齢者をはじめとする全ての区民が利用可能なアプリを開発・運用することで、日々の健康づくりを支援するとともに、フレイル予防やデジタルデバインド対策を推進

事業内容

◆文京健康アプリふーみーの開発による運動習慣の定着化

- 歩数と運動プログラムを融合させたパーソナル健康アプリは、高齢者をはじめとして年代や運動習慣に限らず、全ての区民が利用可能
- アプリ内に搭載する1回5分の運動プログラムは、天候等に左右されず高齢者自身の都合で実施でき、歩数にも換算

◆アプリを活用したフレイル予防の推進

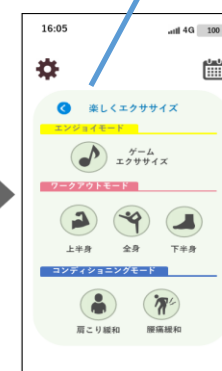
- 高齢者層を対象としたフレイル予防事業の実施にあわせてアプリの活用を促すことで、既に健康意識の高い高齢者に対するさらなるフレイル予防を推進

◆アプリの利用促進とデジタルデバインド対策

- スマホの利用に不安を抱える高齢者に対しては、シルバー人材センターと連携し、「スマホ講習会」や「スマホ相談会」を案内
- 様々な機会を捉え、アプリのインストール支援も併せて行うことで、デジタルデバインド対策を一層推進

ライフコースや目的別にモード選択が可能

日常生活（通勤・家事・仕事等）で不足活動量を補う運動メニューを提案



- 選択可能モード
- チャレンジモード
- 健康維持モード
- リフレッシュモード
- 運動習慣定着プログラム
- マタニティモード
- チャイルドモード
- 車いす・松葉杖モード

誰でも簡単にウォーキングを習慣化



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
アプリ開発、講演会等	アプリ開発・講演会等	追加開発・講演会等	
フレイル予防の推進	フレイルチェック・予防教室		
デジタルデバインド対策	スマートフォン講習会・相談会		

デジタルツールやeスポーツを活用したフレイル予防、多世代交流

事業内容

◆健康チャレンジアプリの開発

- 日々の歩数や歩行距離、体重や血圧の記録など様々な場面から健康ポイントを獲得できるアプリを開発
- 健康ポイント事業と連動させることで、日々の何気ない歩行や活動を通じて「知らない間に」ポイント獲得ができる仕組みを構築

◆デジタルツール等を活用したフレイル予防の実施

- 介護予防センターを改修し、歩行測定システム等のデジタルツールや認知症予防トレーニングマシンを活用した身体健康の維持等、**健康寿命の延伸を目的としたフレイル予防拠点**として活用

◆eスポーツ等を活用した多世代交流の促進

- 区民ひろばを改修し、**新たにeスポーツも楽しめる拠点**へと整備
eスポーツを通じた**高齢者同士の新たな交流**のきっかけづくりを行うとともに、施設を利用する**子ども等との交流**を促進
- 高齢者向けのカラオケや脳トレ、スマホ教室、全世代を対象としたモルックやコンサート等、様々なコンテンツも提供し、**地域の多世代交流拠点**として活用



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
健康アプリ開発・ポイント導入	開発・プレ運用 →	本格運用 →	→
フレイル予防の実施	介護予防センター →	開館・随時イベント実施 →	(R8.2月～) →
多世代交流の促進	区民ひろば開館 →	随時イベント実施 (R7.12月～) →	→

ウォーキングや健康教室の参加者にインセンティブを付与することで健康無関心層の参加を促し、
運動の習慣化を図り、定着させる環境を整える

事業内容

◆健康アプリの構築

- ・歩数や消費カロリー計測、体重管理など手軽に健康活動が可能なアプリを提供
- ・活動を見える化することで外出促進に加え、栄養や健康情報を掲載することによりヘルスリテラシーの向上
- ・身近な市内ウォーキングコース等を発信し、活用しやすいよう整備
⇒日々の**健康活動のきっかけを創出し、運動習慣の定着を促しフレイル予防**

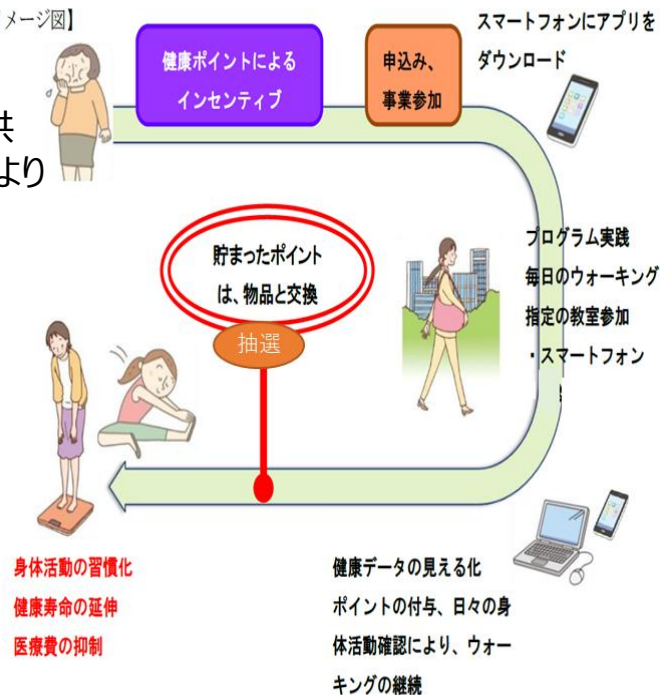
◆デジタルデバインド対策及び外出機会の創出

- ・スマホ操作について基礎から学び、事業を利用しやすいよう説明会を実施
- ・デジタル技術に触れる機会を提供し、健康情報をキャッチしやすい環境をつくる
⇒**外出意欲が向上しフレイル予防・QOLの向上**

◆健康無関心層を取り込んだ運動習慣等の定着支援

- ・歩数を貯めたり健康教室等へ参加する健康活動をととしてポイントを付与。
ポイントを貯めて抽選に参加することで景品として市の特産品などを提供
⇒**インセンティブの提供により健康活動の意欲を向上し、継続的な実施を促す**

【イメージ図】



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
健康ポイントアプリ	システム構築 運用		
説明会 (★) ・運用期間	★★	★	★
抽選会 (●)	●	●	●

公民連携や活動拠点の整備により活動の場を創出するとともにデジタルを活用した健康づくりにより、
高齢者の健康、生きがい、仲間づくりを支援する

事業内容

◆ 高齢者活動拠点の整備

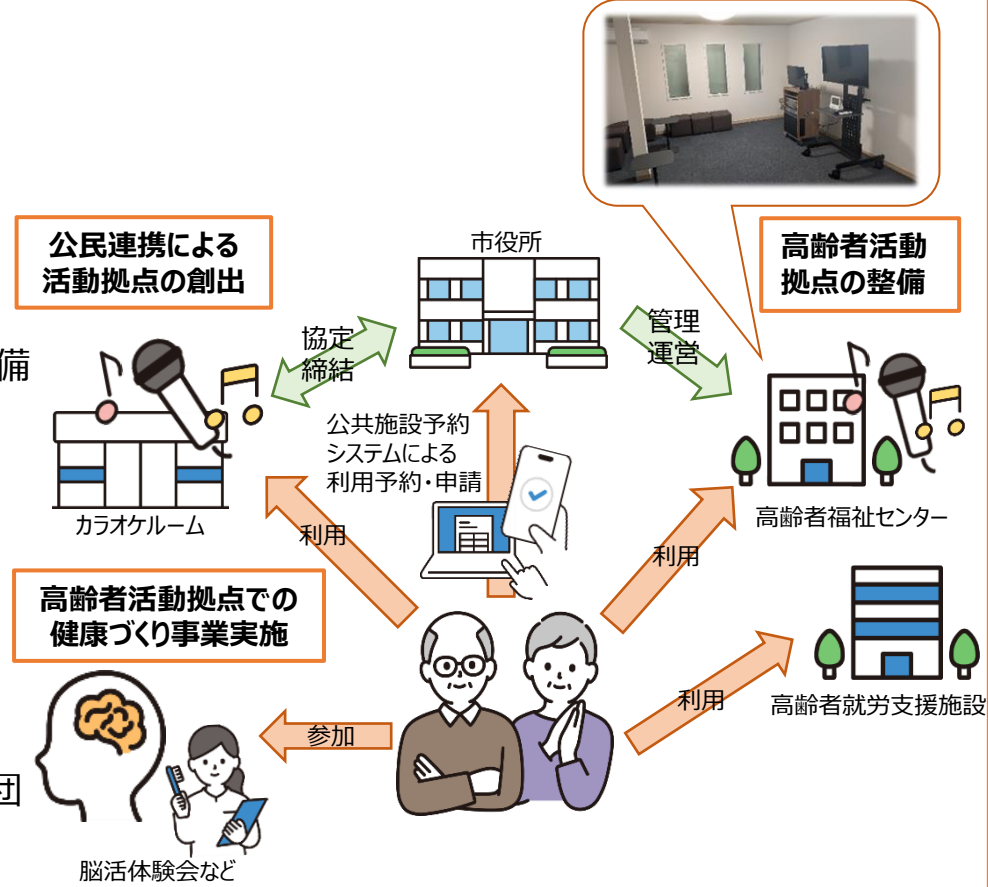
- 高齢者福祉センター及び就労支援施設を改修し、健康、生きがい、仲間づくりの拠点となる音楽活動室やふれあいスペースを整備
- 民間企業と連携し、市内カラオケ店の1室を借上げ、高齢者団体に活動の場を提供
- 公共施設予約システムによるインターネット予約環境の整備

◆ 健康づくり事業の実施

- 民間企業と連携し、**デジタルを活用した「脳活体験会」**を開催
⇒ **認知症の予防や早期発見**につなげるプログラムを実施
- カラオケを活用した**口腔機能維持向上（オーラルフレイル）事業**を展開

◆ 高齢者のつながり創出

- 雑談などを通して交流するふれあいスペースでは、カラオケ団体の設立や老人クラブへの加入を周知
⇒ **仲間づくり**を促進し、健康増進・生きがい創出に寄与



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
活動拠点の整備	→		
健康づくり事業の実施	→		

スマートフォンアプリを利用し、健幸的な行動（歩数、食事、睡眠、血圧など健康に関する記録や市のイベント等への参加）に応じてポイントを付与し、一定のポイント数を獲得した参加者にインセンティブを付与する

事業内容

◆デジタル活用して健幸的な生活習慣を獲得

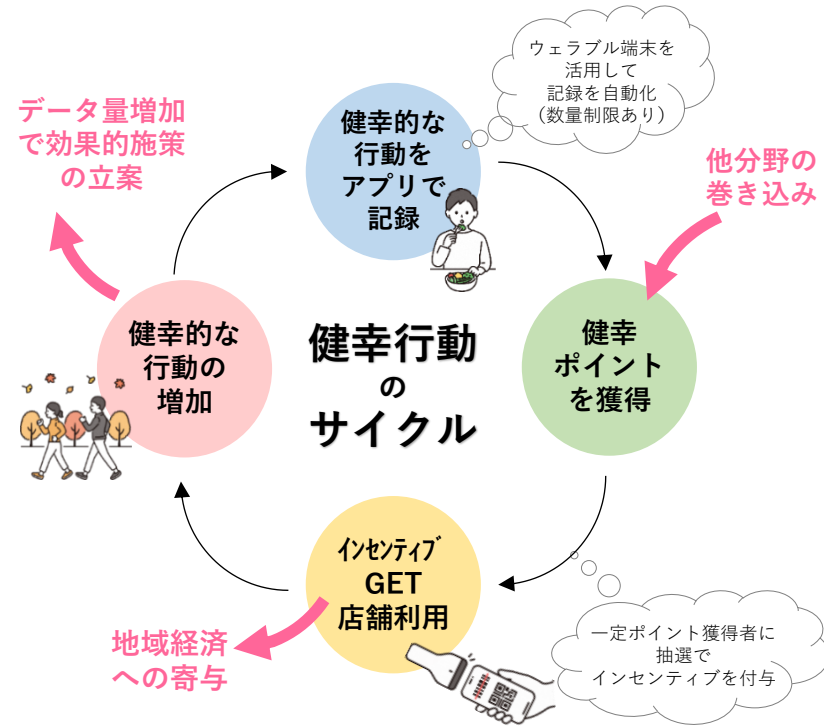
- ・健幸的な行動（歩数の記録や市のイベントへの参加など）にポイントを付与し、一定のポイント数を獲得した参加者にインセンティブを付与する
- ・希望する利用者に対してウェアラブル端末を貸し出し、睡眠などの記録を自動的にアプリに反映させることで、ポイント獲得の際の負担を軽減し、健幸的な生活習慣の定着を促進する
- ・環境施策やコミュニティ施策など他分野とも連携し、関連イベントへの参加にもポイントを付与し、他分野に関する行動変容も目指す

◆市内限定で利用可能なインセンティブで外出促進及び地域経済への寄与

- ・市内限定で利用可能なインセンティブ付与の仕組みを構築
- ・利用者への参加促進や継続的な利用へのインセンティブとするとともに地域への外出促進及び地域経済への寄与を図る

◆端末やマイナポータルアプリ連携によるデータ分析と政策への活用

- ・ウェアラブル端末やマイナポータルAPIとの連携（連携は個人の任意）によるデータ分析と政策への活用を目指す



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
アプリの開発・運用	開発 運用		
他分野への展開	健康施策、環境施策、コミュニティ施策との連携	分野を拡大して連携	運用
医療情報との連携分析	マイナポータルAPI連携の仕組み構築	データ分析	データ分析・次年度計画策定

公共交通の利便性向上 (AI デマンド交通・コミュニティバスの実証運行から本格運行へ) と高齢者の外出促進

事業内容

◆ **デマンド型交通「チョイソコあきる野」の運行**

- ・AIシステムによる最適な乗り合わせと経路での送迎サービス
- ・公共交通が存在しない地域と「買い物施設」「金融機関」「駅」「医療機関」等との間の送迎
- ・運行時間の拡大・停留所の追加を実施

◆ **コミュニティバス「るのバス」の運行**

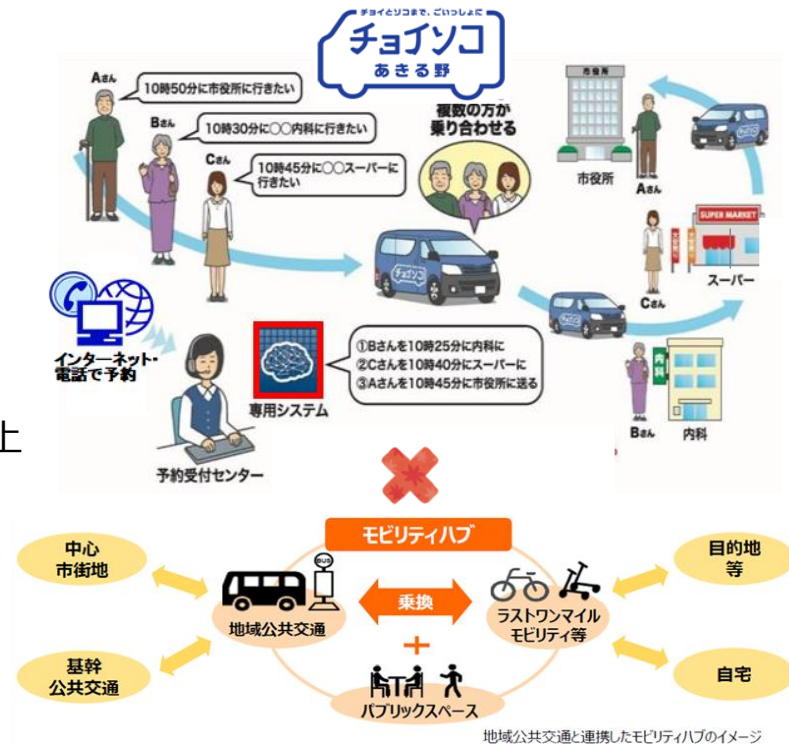
- ・車両を1台増車し、増発・増便を実施
- ・運行情報をデジタル化 (GTFS-JP) し、リアルタイムで確認可能
⇒ 停留所などでの待ち時間解消・乗り継ぎの円滑化など利便性の向上
- ・運転免許証を返納した**高齢者**に、コミュニティバス無料乗車証を発行

◆ **モビリティハブ (交通結節点) の整備**

- ・多様な交通モードへの乗り継ぎを可能とする施設を整備
- ・交通ネットワークがつながり、移動の快適性と利便性が向上
⇒ **高齢者等が安心して外出できる環境を提供**

◆ **対象地域での説明会等の開催**

- ・町内会・自治会、ふれあい福祉委員等と連携して、**デマンド型交通**の概要やインターネット予約の利用方法、リアルタイムの運行情報の活用方法の紹介・レクチャー
⇒ **高齢者がデジタル技術に触れる機会を創出し、利活用を推進**



高齢者の健康増進

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
デマンド型交通の運行	本格運行 →	事業拡大 →	アンケート調査 →
コミュニティバスの運行	本格運行 →		
モビリティハブ (交通結節点) の整備	整備 →	供用開始 →	
説明会等の開催	説明会等の開催 →		

eスポーツを活用した拠点における高齢者同士の新たな交流のきっかけづくりや若者世代との交流など、フレイル予防としての新たな社会参加の広がりを目指す

事業内容

◆eスポーツ事業拠点の整備と利用促進

- ・eスポーツ事業の核となる3拠点（福社会館等）を改修
- ・デジタル環境を整備し、eスポーツを通じた**拠点間・地域間交流**を促進
- ・拠点におけるeスポーツ利用促進のための講座を実施

◆健康eスポーツ講座の担い手の養成

- ・健康eスポーツ講座の運営者となる、**健康デジタル指導士**の養成講座を実施
- ・養成した指導士をeスポーツ事業の拠点となる福社会館等に派遣

◆eスポーツの普及啓発

- ・市内イベント等を通じて健康eスポーツ事業の普及啓発を実施
- ・**シニア向けeスポーツ大会**を開催し、シニア世代のeスポーツ利用のモチベーションを向上



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
指導士の養成・拠点派遣	→	→	→
eスポーツ拠点の整備	→	→	→
普及啓発活動	→	→	→

就労意欲のある障害者等に対し就労体験の場を提供するとともに、誰もが交流できる居場所を設ける

事業内容

◆店舗運営等による就労体験の提供

- ・一般商品・区内障害福祉サービス事業所自主製品の販売
幅広い区民に足を運んでいただくきっかけ作りを行うため、**区民住宅 1 階にある空きスペースを活用した物販店舗「Kitara（きたら）」**を設置。来店者との接客や商品陳列などの業務体験が可能
- ・区立学校標準服等リユース支援
不要となった区立学校標準服等リユース品の回収受付、商品管理、受渡業務の体験を通じて、**学生やその保護者との交流**を深める

◆集いの場の運営

- ・1階店舗内に**誰もが利用できる飲食可能な集いの場**を設置し、物販店舗を利用する地域住民、区立学校標準服等リユースを利用する学生やその保護者と障害者等との交流を図るなど、**地域のインクルーシブな交流**を促進
- ・イベントを開催するなど、**障害のある方と様々な世代の交流**を深める機会を創出

◆その他の事業

- ・行政や企業等の発注元と区内障害福祉サービス事業所の間で**受発注の調整を行う共同受注窓口**を設置し、大口案件受注のための活動等を実施



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
店舗運営等による就労体験の提供	内装整備 →	店舗運営・就労体験の提供 →	→
集いの場の運営		イベント実施（随時） →	→
その他の事業		事業所活動支援 →	→

区民ニーズに応じた公園ごとの役割分担によってコミュニティ活動の場を創出

事業内容

◆多世代の意見を集約した公園改修案の作成

- ・核となる公園を中心とした「公園区」を設定し、施設の再配置や機能分担を図る
- ・ワークショップ^o (全4回) やアンケート調査を実施し、区民ニーズを把握
 - ①魅力や課題の発見 > ②使い方の検討 > ③レイアウトの検討 > ④改修案作成



アンケートやワークショップの意見を反映

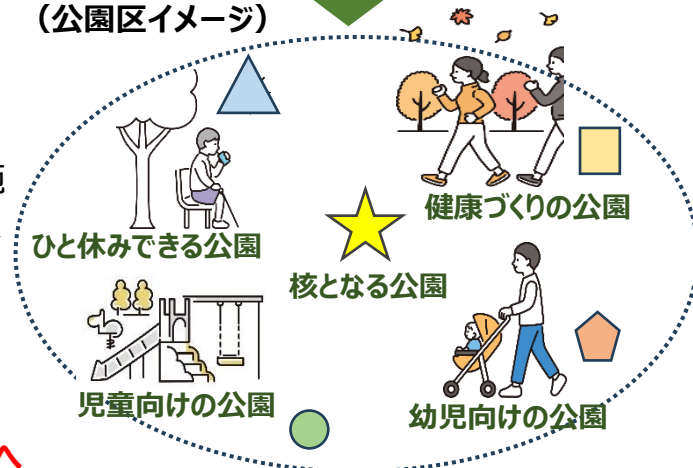
◆設計及び改修工事の実施

- ・区民の意見を反映させた改修案を基に設計
- ・インクルーシブ遊具やベンチの設置、広場・園路等の改修工事を実施
- ・改修後は参加者へ改修内容をフィードバックするとともに、HP等で広く周知を実施

◆公園改修をきっかけとしたコミュニティ活動の場の創出

- ・公園ボランティア制度の「花咲かせ隊」「みどり育て組」等を活用
- ・ワークショップにおいて維持管理にも携わってもらえるよう、より広い世代へのボランティア活動の普及啓発を実施

公園機能の見直し
(公園区イメージ)



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
公園改修案の作成	6~9月 →	6~9月 →	6~9月 →
設計・改修工事	設計10~2月 → 工事9~3月 →	設計10~2月 → 工事9~3月 →	設計10~2月 → 工事9~3月 →
コミュニティ活動	→		

社会的自立や学校復帰のために必要な支援体制の充実

事業内容

◆不登校対策スーパーバイザーによる指導助言

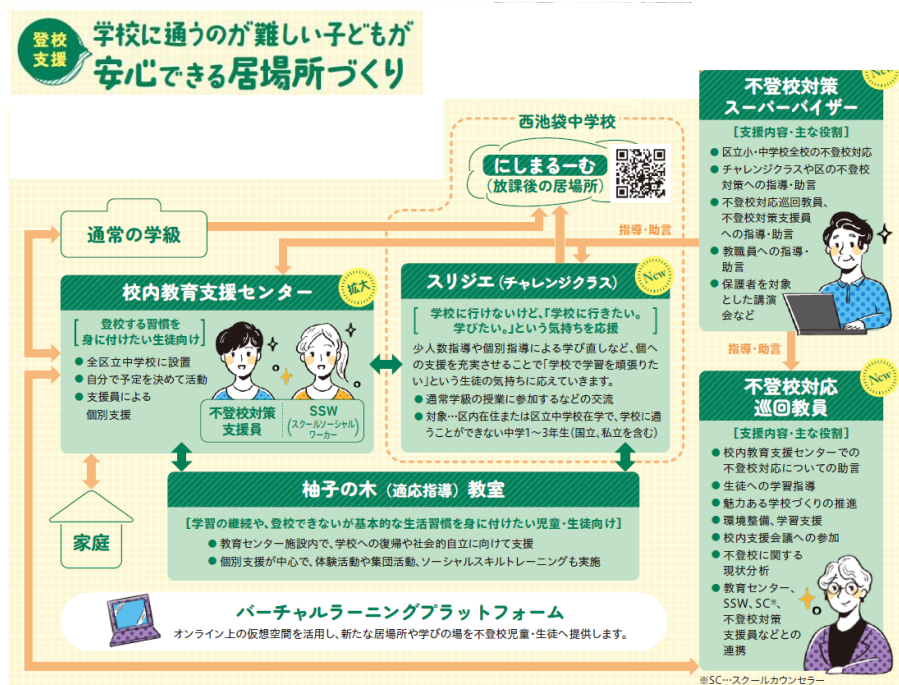
・全国で5名しかいない「**学びの多様化学校マイスター**」である、**学びの多様化学校**の元校長を任用し、不登校施策全般や学校職員・区職員への指導助言、保護者向け講演会等を実施し、**区全体の不登校対策のレベルアップ**を図る

◆チャレンジクラス・校内教育支援センターの生徒支援

・学習意欲を持つ不登校生徒支援のため、**個別学習や登校の支援**を行う
(チャレンジクラスは都内小中学校のうち、14校のみ指定)

◆適応指導教室における弁当提供

・昼食に弁当を無償提供することで、不登校児童生徒がより通いやすい環境とし、**学習や生活習慣の改善・社会性の育成**を促進させる



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
不登校対策スーパーバイザーの活用		不登校対策スーパーバイザーの任用	
チャレンジクラス・校内教育支援センターでの支援	有償ボランティアの活用	不登校対策に関する専門性の高い職員の配置	
適応指導教室での弁当提供	試行	本格実施	

区の特徴である緑と文化の視点から、「人とみどりの共存」を志向する取組により、つながりを創出

事業内容

◆区営住宅の集会所でつなぐ「いたばしサロン」

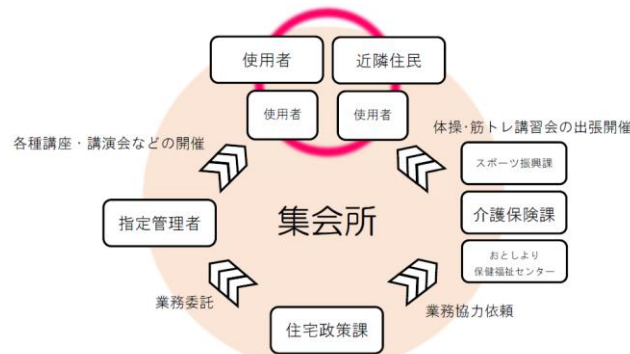
- ・防犯・防災・健康に関する**サロン活動**（講演会及び映画鑑賞会等）を実施
- ・近隣住民も広く呼び込み、世代間・地域住民間の交流による**共助の体制づくり**や、多く入居する**高齢者の見守りの強化と外出促進**
- ・参加者の団体設立を支援し、**自発的なコミュニティ活動**を引き出す

◆人とみどりの共存する居場所づくり「高島平緑地の再整備」

- ・緑地の立地やポテンシャルを活かしたイベントを社会実験として実施
- ・事業者や地域団体向けに**緑地を試行的に開放**するほか、未利用地などを活かした農地造成、給排水等、**農機能**を導入する基盤を整備
- ・区と地域住民や企業、市民団体が一緒に緑地を作り上げ、**官民一体で「人同士のつながり」という、公園を通じた新たなコミュニティ**を創出

◆誰でも気軽に文化芸術体験「文化会館アートスタジオ」

- ・**多種多様な創作が可能な空間**を整備し、**文化芸術を通じた新たなコミュニティ**を創出
- ・誰でも好きな時に気軽に立ち寄り、自由に創作体験できる居場所としつつ、随時ワークショップや教室、講座なども開催



▲いたばしサロンのイメージ



▲夜までりよち満喫（R6年度のイベントの様子）



▲文化会館の外観

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
いたばしサロン	サロン開催（1住宅当たり12回/年）		
高島平緑地の再整備	緑地を活用したイベント等の社会実験		基盤整備
文化会館アートスタジオ	施設改修・備品調達 居場所運営・ワークショップ・講座実施		

ママやパパの活躍を応援、地域とのつながりを広げ、子育てを支え合う環境づくりを推進

事業内容

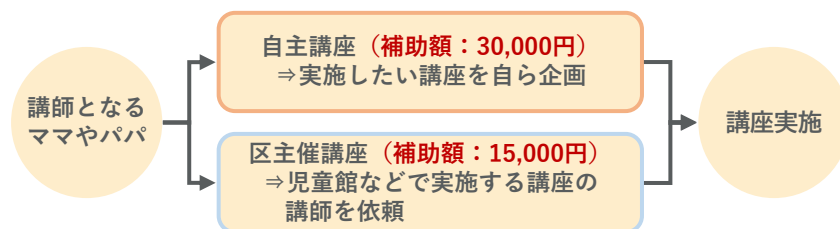
◆ママやパパの地域での活躍を応援

- ・子育て中のママやパパが講師となり、**自らのスキルを活かして実施する自主講座**を支援し、**地域での活躍**を応援。さらに、児童館や子育てのひろばなどで実施する講座の講師を依頼し、活躍の場を広げる
- ・自主講座（例）> 英会話、ダンス、パン作り、親子アロマ作りなど
- ・個人の活動を、講座の運営費補助やイベント周知などで後押しすることで、**地域で子育てを支え合う**環境を整備
- ・子育て家庭が地域の身近な場所で気軽に交流や相談などができる居場所の更なる充実を図る



◆ママパパ交流イベントの開催

- ・地域とのつながりを広げ、子育てを支え合い、もっと楽しめるよう、**子育てするママやパパ、子育て支援団体**などが参加する**交流イベント**を開催
- ・講座の講師として地域で活躍するママやパパ、子育て支援団体等がつながる機会とするとともに、誰もが参加できるイベントとすることで、**地域で子育てを支え合う**機運を醸成



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
子育て講座の実施	実施 →	拡充 →	→
交流イベントの開催	企画・開催 →	継続実施 →	→

生きがい・やりがいを見つけて自分の力を社会に還元！ 地域×人を結ぶ官民連携プラットフォーム

事業内容

◆ **新たな「自分」と「仲間」を見つける居場所づくり**

- ・ **交流・参加・学びと福祉が一体的に提供される拠点**を整備し、孤独・孤立状態の方が社会とつながりやすくなる取組を **民間との共同運営で実施**
 - ① 民間主体による、**多様な交流、社会参加、学び、経験機会の提供**
 - ② **e-スポーツ**を通じた**コミュニティ×健康づくり**
- ・「興味」を通じて居場所で交流し、知識や経験、社会とつながりを獲得

◆ **潜在的な地域の「力」を社会に還元（中長期的な展開）**

- ・居場所を通じて**潜在的な「人財」を発見**し、地域や企業とマッチング
 - ① ひきこもり当事者や孤独状態で悩みを抱える**市民と活動をつなぐ**
 - ② 地元企業の魅力を伝えるワークショップを開催し、興味・関心を促す

◆ **福祉専門職による相談窓口の運営**

- ・**福祉総合相談窓口**を設置し、心身や生活のサポートしつつ、暮らしの安定に向けた**早期支援**を提供



ことこプロジェクトベース



人と地域を結ぶ、「つながり」創出の拠点（ことこプロジェクト）

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
拠点の整備	設計・ワークショップ 施設整備	施設整備	
居場所運営	e-スポーツ等開催×相談支援	人財マッチング	運営の自主化

ことこ

個、孤、子、戸、事、言葉・・・
八王子で地域の人や企業の人たちの新しい居場所をつくっていく。そこでは色んな「こ」と「こ」が楽しんだり活躍したりしながら関係をつくっていく。そんな「場」のことをみんなで共有するシンボル。「ことこ」という3文字にはそんな思いが込められています。



イラスト: 米村知倫

地域の核となる拠点を整備し、それぞれが繋がり、学び・交流・支え合いが循環する居場所ネットワークの構築

事業内容

◆ 学校内に市民がつどう「ふれあい」の場整備の実施

- ・学校内の空きスペースを活用し、交流の場「ふれあいセンター」を整備
- ・学校内に整備することで、若者世代と高齢世代が共存する機会を創出
- ・常駐する地域コーディネーターが日々の交流やイベントを企画・運営し、住民参加型のプログラム（例：茶話会、地域探索等）を提供



※イメージ画像は生成AIで作成
ふれあいセンターイメージ



※イメージ画像は生成AIで作成
図書館学習スペースイメージ

◆ 新たな「まなびのスペース」整備の実施

- ・各図書館内に学習スペースを新設し、新たな居場所を提供
- ・「交流エリア」には、集団利用も想定した「交流学習室」を設けることで、来館した人が気軽に集うことができる空間（まなびのスペース）を創出
- ・開館日時を拡大し、経済的事情に関わらず誰もが安心して学べる場所を創造

◆ 公民連携で多世代に渡る居場所ネットワークの構築

- ・市の新たな拠点をつなげ、市民の交流を促すプロモーション事業を実施
- ・産学官が連携し、「ふれあいセンター」や「まなびのスペース」で交流事業を行うとともに、地域住民向けの多世代・他分野の交流イベントを実施するなど、新スタジアムを含む新たな地域の居場所を効果的に周知
- ・地域の居場所がわかるPRブック・PR動画等を作成



多世代交流イベントのイメージ
(画像は「踊りを活用した市民交流事業」)

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
ふれあいセンター整備事業	整備工事	開設・運営 イベント・講座	
まなびスペース整備事業	計画・準備	整備 開設・運営 イベント・講座	
居場所ネットワーク構築事業	計画・準備	イベント企画 実施	イベント企画 実施

南部地域に中高生の居場所機能を備えた特化型児童館を整備し、地域に根差した支援と子どもの主体的参画を推進

事業内容

◆「学び」と「つながり」を核とした施設整備

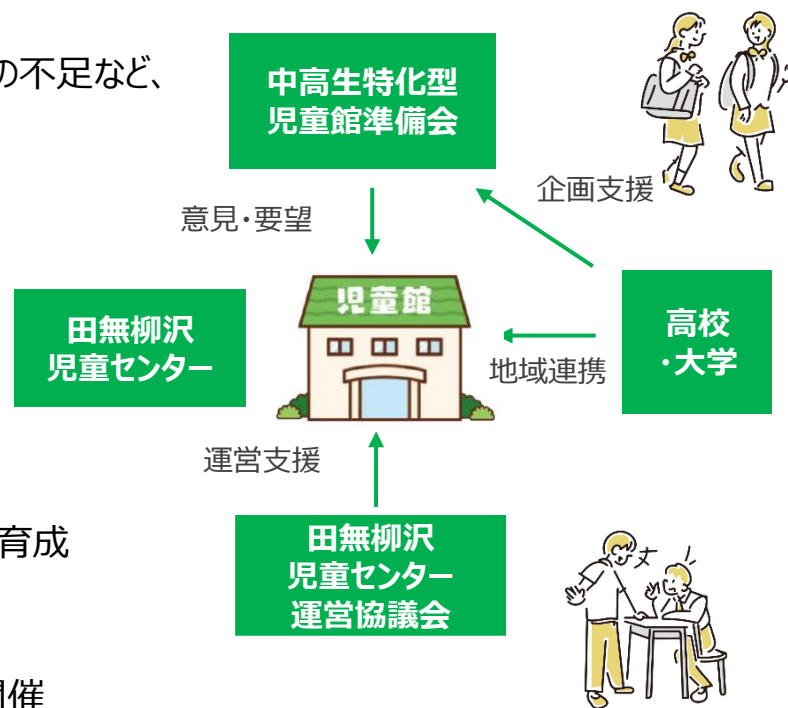
- ・学習意欲の低下、居場所の欠如、家庭外での安心できる対話空間の不足など、**中高生**を取り巻く社会的課題の解決に向けた環境整備を実施
- ・開館日時を拡充し、安心して過ごせる放課後の居場所を確保
- ・グループワークやワークショップが実施可能な可変型スペースを設置
⇒サークル活動等に活用することで**協働・交流型の学びの場**を創出
- ・中高生が気軽に立ち寄り、仲間と語り合う交流スペースを整備

◆中高生の参画と協働

- ・施設整備・運営にあたって、中高生の意見を積極的に取り入れる「**中高生特化型児童館準備会**」を設立（年4回程度）
- ・内装やレイアウトの選定、運用ルール、広報活動の在り方を検討
- ・ICTを活用したイベント等の企画立案を通して、デジタルに強い人材を育成
⇒中高生の主体性を育み、「**中高生を育てる拠点**」へ

◆地域との連携

- ・近隣の高校や大学、運営協議会などの多分野と連携したイベントを開催
- ・イベントを通して主体性や社会性を育むとともに、様々な分野の人との交流機会を創出



スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
施設整備・環境整備	→		
中高生の参画・広報	→		
地域連携・運営体制構築	→		

空き家の古民家を改修し、“こどもから高齢者の誰もが気軽に立ち寄り、世代間交流のできる居場所”を整備

事業内容

築200年の古民家を改修

BEFORE



AFTER



◆安心して集まれる「居場所(kori-mogu)」の整備

- 古民家を改修し、人や地域と繋がりが持て、気軽に立ち寄れる居心地の良い居場所を創出

◆多世代・町内外の交流できる居場所の創出

- 地元の食材を使った会食や移動困難者への宅食、配食を実施。孤立、孤食を防止し地域の健康を支える食の提供
- 地域の輪を拡大し、町内外の人が出会う場の創出につなげるため、コミュニティカフェを運営し、バザーや音楽会などのイベントを開催
- 今昔の遊びを伝えあう、あそび場を提供し、異世代交流を促進
- 中高生専用の時間帯を設け、やりたいことを話し合い実現する場、自習スペースやデジタルワークショップ（プログラミング、3Dプリンター工作等）の実施などの学びの場を提供

◆体験宿泊事業による町の魅力や情報発信拠点を創出

- 親子向け体験宿泊プログラム（森の散策等）や多世代のアート作品の展示などの町の魅力を発信
- 町への関心を高め、関係人口の創出や移住促進に繋げる

スケジュール	令和7年度	令和8年度	令和9年度
主屋の改修：食・カフェ・あそび・学び・体験宿泊事業	主屋の整備	食・カフェ・遊び・学び・宿泊事業の運営	
蔵と中庭改修：デジタル学習事業		蔵と中庭整備	デジタル寺子屋運営
アトリエ新設：作品展示、野菜等販売			アトリエの整備・運営